

長野県

信州から発信する低炭素型・資源循環型の地域づくり

長野県は、2つの県民運動をスタートさせ、持続可能な低炭素型・資源循環型の地域づくりに向けて、みんなで行っています。

「減CO₂(げんこつ)アクションキャンペーン」は、家庭、学校、会社、地域などのグループ単位で、『こまめに消灯



減CO₂アクションキャンペーン・キックオフイベント

する』『自転車でエコ通勤』『ごみをきちんと分別する』などの活動内容を登録して、1年間実践していただくというものです。平成20年度は、37,445人の方々が登録くださいました。登録状況は、ホームページでご覧いただけます。(http://www.stop-ondanka.pref.nagano.jp/)。県民の皆さんの日ごろ実践している取り組みや新たな“温暖化防止のアイデア”を、どしどしご登録いただき、その活動の輪が広がっていくことを目指しています。

「レジ袋削減県民スクラム運動」は、事業者・消費者団体・県の3者が、レジ袋削減協定を締結し、レジ袋削減

の取り組みを通じて、環境にやさしい生活スタイルへの転換を図っていかうとする運動で、昨年10月にスタートしました。平成22年度までに、マイバッグ持参率を60パーセント以上とすることを目標とし

ています。毎月5日を「統一NO・レジ袋デー」とし、県下一斉に店頭啓発をするなど連携・協力して取り組んだ結果、30%弱だった持参率が、直近では50%を超えるなど、徐々に県民運動の成果が現われています。協定の締結事業者は、今年6月には23者(500店舗)となりました。ともに連携・協力しながら運動の波及を図り、生活全般へ3Rの行動を広げていくことを目指しています (http://www.pref.nagano.jp/kankyohaiki/reji/rezibukuro.htm)。

今後も、豊かな循環が育む水と緑のふるさと・信州を目指して、県民の皆様とともに、力を合わせて環境保全に取り組んでいきます。

長野県環境部環境政策課 ☎026-235-7169



レジ袋削減県民スクラム運動啓発デザイン

飯田市

『おひさま』と『もり』のエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の創造

飯田市は、長野県の南端、諏訪湖から流れる天竜川に沿って南北に広がる「伊那谷」に位置し、森林面積が84%を占め、年平均2000時間の日照時間に恵まれた自然豊かな中山間地域です。

当市は、2007年に「環境文化都市宣言」を行い、めざす都市像に環境を据えたことで、環境を大事にしようという意識が、地域全体で共有され、2009年1月に国から「環境モデル都市」として認定を受けることができました。これをうけて策定した行動計画の取り組みの柱として、「低炭素社会に向けた地域全体の意識改革」「産業界との連携で取り組む低炭素な企業活動」「移動手段の低炭素化」「おひさまとりのエネルギーの総合利用への展開」の4点を掲げ、2005年対比で、2030年には民生部



飯田市立鼎みつば保育園の屋根を活用した太陽光市民共同発電

門、特に家庭部門の温室効果ガス排出量を40～50%削減、2050年には、民生部門の削減に併せて運輸・産業部門での削減を進め、地域全体の温室効果ガス排出量の70%削減を目指しています。

環境モデル都市の初年度として、「地球温暖化対策課」及び「地球温暖化対策推進本部」が新設され、行動計画の推進に当たっています。また今年度の具体的な事業としては、国の支援を受けて、①市内に電動自転車等130台を配置し無料で貸し出す「自転車共同利用システム推進事業」②市内の防犯灯約3000本をLED化する「防犯灯LED化整備事業」③「エコモデルハウス建設事業」を実施するとともに、「都市部とのカーボンオフセット交流」も計画しております。



飯田市立龍江小学校のベレットストア

長期にわたる事業であるため、目標達成のためには次代を担う子供たちに趣旨を理解してもらおう教育も必要ですし、人材をいかに確保しこの地域に定住させるかという課題がありますが、温暖な気候や豊富な森林資源を最大限利用して、市民・事業者・行政が一体となって低炭素社会の構築に向けて取り組んでいきます。

飯田市水道環境部地球温暖化対策課

☎0265-22-4511